

2013年3月期 決算

説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2013年4月30日



CONTENTS

- 1 2013年3月期 決算
- 2 2014年3月期 業績予想
- 3 マレーシア計画
- 4 補足資料

1 2013年3月期 決算

1. 決算概要

2. セグメント別売上高／営業利益



① 2013年3月期 決算

1. 決算概要

連 結 (前 期 比)

(億円)

	2012年 3月期	2013年 3月期	増 減	
			金額	%
売上高	2,823	2,586	△237	△8
営業利益	137	67	△69	△51
経常利益	115	32	△82	△72
当期純損益	93	△379	△472	—

定性情報(前期比)

(売上高)

増収要因 : セメントの販売数量増

減収要因 : 多結晶シリコンの販売数量減・販売価格下落、
塩ビモノマーのプラントトラブルに伴う販売数量減

(営業利益)

増益要因 : 販売数量減等に伴う売上原価・物流費の減少、新基幹システムに関わる費用の減少

減益要因 : 売上高の減少

① 2013年3月期 決算

1. 決算概要

連 結 (前 期 比)

(億円)

	2012年 3月期	2013年 3月期	増 減	
			金額	%
売上高	2,823	2,586	△237	△8
営業利益	137	67	△69	△51
経常利益	115	32	△82	△72
当期純損益	93	△379	△472	—

定性情報(前期比)

(経常利益)

増益要因 : 為替差益の増加

減益要因 : 休止部門費の増加

(当期純損益)

減益要因 : 多結晶シリコン製造設備の減損損失の計上等による特別損益の悪化
繰延税金資産の取り崩しによる税金費用の増加

① 2013年3月期 決算

1. 決算概要

連 結（前期末比）

（億円）

	2012年 3月末	2013年 3月末	増 減
総資産	5,011	5,182	+170
自己資本	2,492	2,175	△317
自己資本比率	49.7%	42.0%	△7.8ポイント
有利子負債	1,486	1,877	+390
D/Eレシオ	0.60	0.86	+0.27

定性情報（前期末比）

（総資産）

増加要因： マレーシアでの多結晶シリコン製造設備建設による有形固定資産の増加

減少要因： 徳山製造所における多結晶シリコン製造設備の減損

（自己資本）

減少要因： 減損損失計上による利益剰余金の減少

（有利子負債）

増加要因： マレーシアでの多結晶シリコン製造設備建設等のための長期借入金の増加

① 2013年3月期 決算

2. セグメント別売上高／営業利益 (前期比)

(億円)

	2012年3月期		2013年3月期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	852	18	773	△0	△79	△9	△18	-
特殊品	724	87	528	△2	△195	△27	△89	-
セメント	684	29	699	53	+15	+2	+23	+81
機能部材	501	24	510	29	+8	+2	+4	+19
その他	403	20	401	26	△1	△0	+5	+29
計	3,166	179	2,913	105	△253	△8	△73	△41
セグメント間消去・ 全社費用	△342	△42	△326	△37	+15	—	+4	—
連結決算	2,823	137	2,586	67	△237	△8	△69	△51

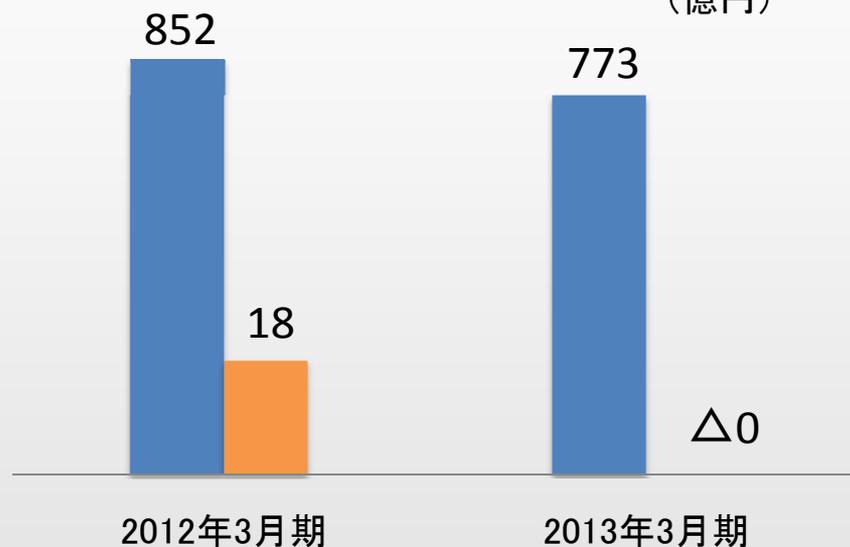
(注1)各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む

(注2)当第3四半期連結会計期間より、従来は調整額に含めていた費用のうち、各セグメントへの関連が明確な費用については、各セグメントに直接負担させる方法に変更を行っている。2012年3月期は変更後の基準で作成している

2. セグメント別売上高／営業利益 (前期比)

化成品

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



定性情報(前期比)

(塩ビモノマー)
塩ビモノマープラントのトラブルによる販売数量減

(苛性ソーダ)
塩ビモノマープラントのトラブルによる販売数量減
販売価格の是正による収益改善

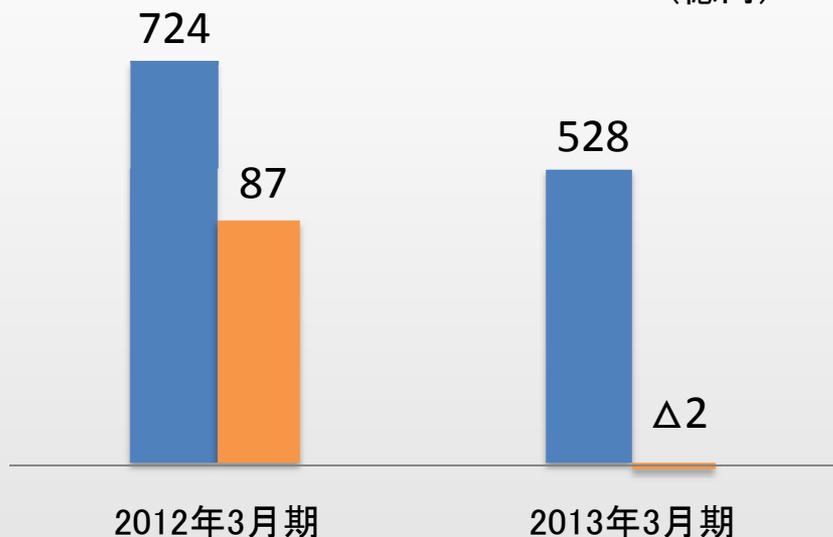
(塩ビ樹脂)
ナフサ価格乱高下による損益の悪化

(珪酸ソーダ)
大型補修の実施による損益の悪化

2. セグメント別売上高／営業利益 (前期比)

特殊品

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



定性情報(前期比)

(多結晶シリコン)

太陽電池関連部材の供給過剰、半導体関連部材の在庫調整による販売数量減・販売価格下落
稼働調整に伴う固定費率の上昇

(乾式シリカ)

販売価格の是正による損益改善

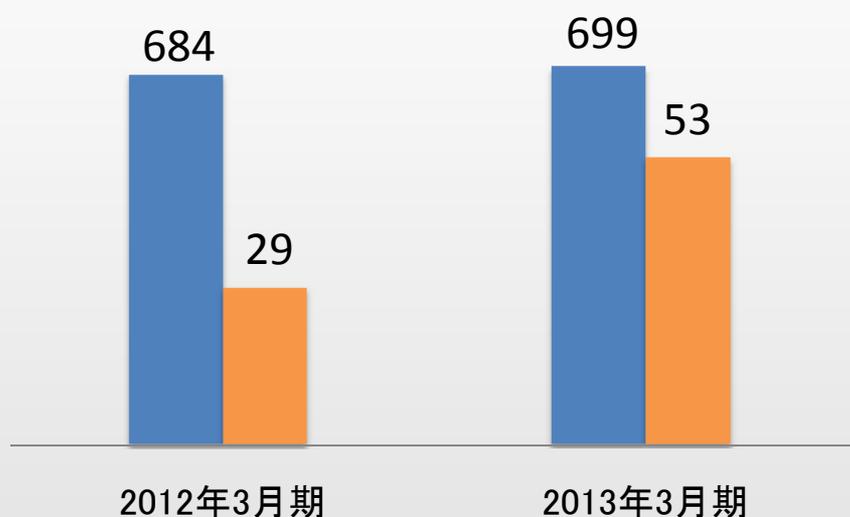
(シェイパル、電子工業用高純度薬品)

半導体、液晶市場の低迷に伴い振るわず

2. セグメント別売上高／営業利益 (前期比)

セメント

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



定性情報(前期比)

(セメント)

国内需要の回復に伴う販売数量増
販売価格の是正
事業合理化等によるコスト低減

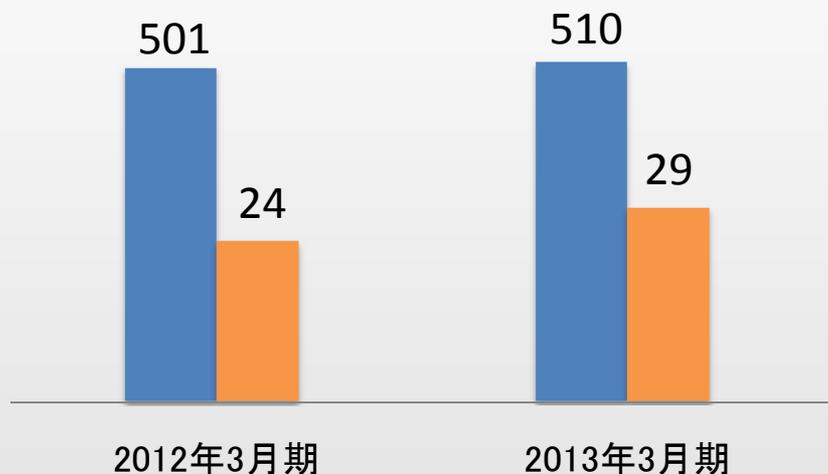
(資源環境事業)

廃棄物受入量増

2. セグメント別売上高／営業利益 (前期比)

機能部材

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



定性情報(前期比)

(プラスチックレンズ関連材料)

前期に発生したタイ洪水によるサプライチェーンのダメージで販売数量減

(微多孔質フィルム)

紙おむつ向け需要が好調で販売数量増

(ポリオレフィンフィルム)

原料価格の上昇により減益

(樹脂サッシ)

事業再構築による損益改善

2 2014年3月期 業績予想

1. 今後の事業環境
2. 業績予想の前提
3. 業績予想
4. セグメント別業績予想
5. 営業利益の増減
6. 全社収益改善の進捗

1. 今後の事業環境

化成品

- ◆ 苛性ソーダの内需低迷等厳しい事業環境が続く
 - ・ 液化水素事業立ち上げ、販売価格是正等により収益回復に努める

特殊品

- ◆ 半導体・太陽電池市場ともに底打ちの動きは見られるものの厳しい事業環境が続く
 - ・ マレーシア第1期プラントの立ち上げ、高付加価値品の拡販等により収益改善を図る

セメント

- ◆ 内需は民需・官需とも引き続き堅調に推移すると見込む
 - ・ 販売・物流体制の見直しを始めとするコスト削減の徹底により、利益確保に努める

ライフアメニティー（2013年度より機能部材セグメントから名称変更）

- ◆ 中国や新興国では市場の成長が期待され、需要・ニーズの多様化が進む
 - ・ 微多孔質フィルムは、中国市場での拡販により収益増大を図る
 - ・ エクセルシャノングループは事業再構築と拡販により、収益改善に努める

全社

- ・ 全社を挙げての経費、人件費（役員報酬・従業員給与）、購買費等の削減

2. 業績予想の前提

	2012年度上期 実績	2012年度下期 実績	2012年度通期 実績	2013年度通期 予想
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	55,200	59,800	57,500	60,500
為替 (円/\$)	79	87	83	95

3. 業績予想

連結（前期比）

（億円）

	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 予想	増 減	
			金額	%
売上高	2,586	2,755	+168	+7
営業利益	67	140	+72	+107
経常利益	32	100	+67	+209
当期純損益	△379	75	+454	-

定性情報

（売上高）

増収要因： 苛性ソーダ・塩化ビニルモノマーの販売数量回復、セメント他の販売数量増

減収要因： 半導体・太陽電池市場低迷による多結晶シリコンの販売数量減

（営業利益）

増益要因： 売上高の増加、
石油化学製品の価格是正、
全社の経費削減

② 2014年3月期 業績予想

4. セグメント別業績予想 (前期比)

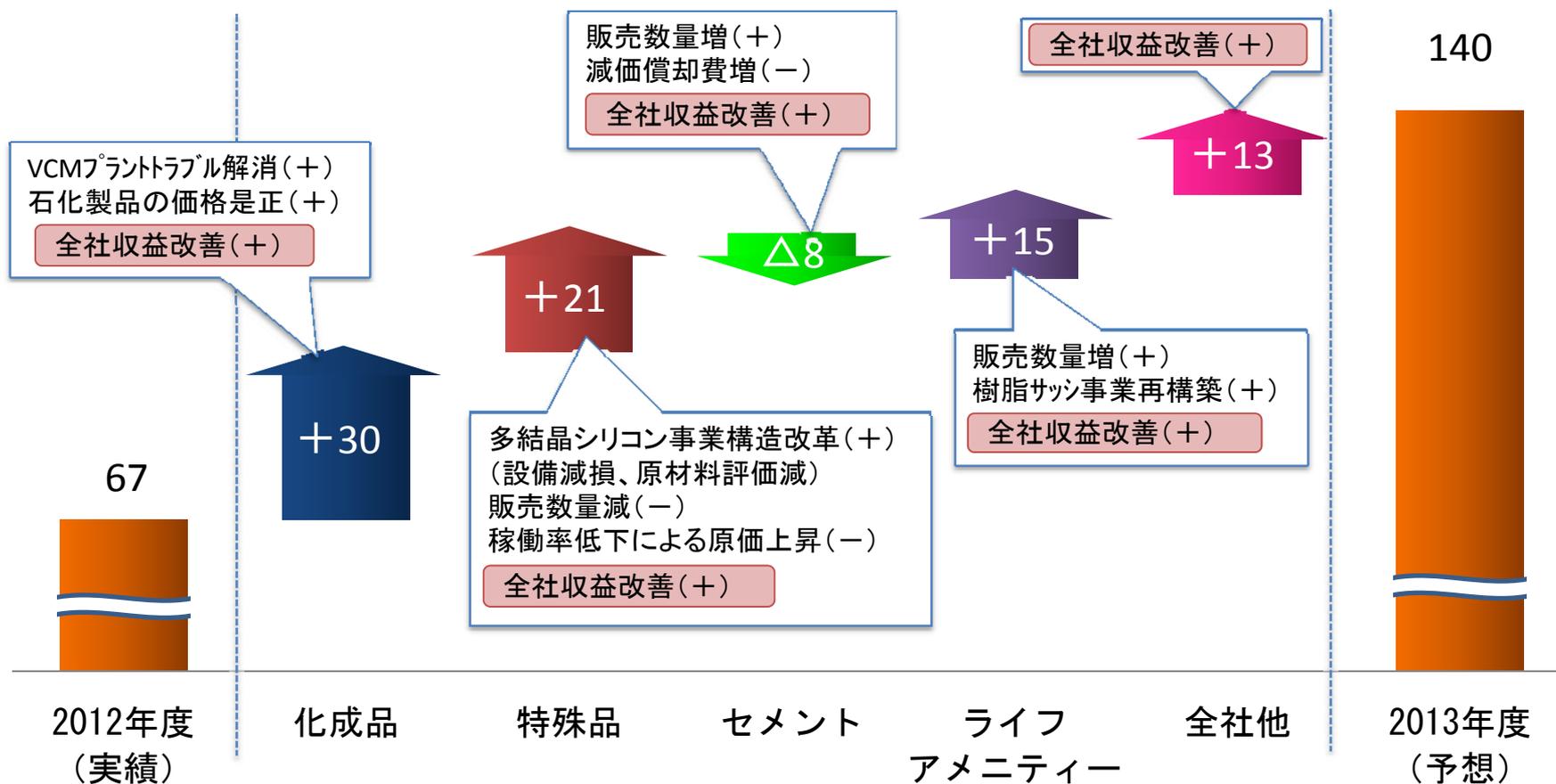
(億円)

	2013年3月期実績		2014年3月期予想		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	773	4	830	35	+56	+7	+30	+720
特殊品	528	3	495	25	△33	△6	+21	+539
セメント	699	53	725	45	+25	+4	△8	△16
ライフアメニティー	510	29	585	45	+74	+15	+15	+53
その他	401	26	475	35	+73	+18	+8	+34
計	2,913	116	3,110	185	+196	+7	+68	+58
セグメント間 消去・全社費用	△326	△49	△355	△45	△28	—	+4	—
連結決算	2,586	67	2,755	140	+168	+7	+72	+107

(注1) 2014年3月期より、機能部材セグメントは、ライフアメニティーセグメントに名称変更している

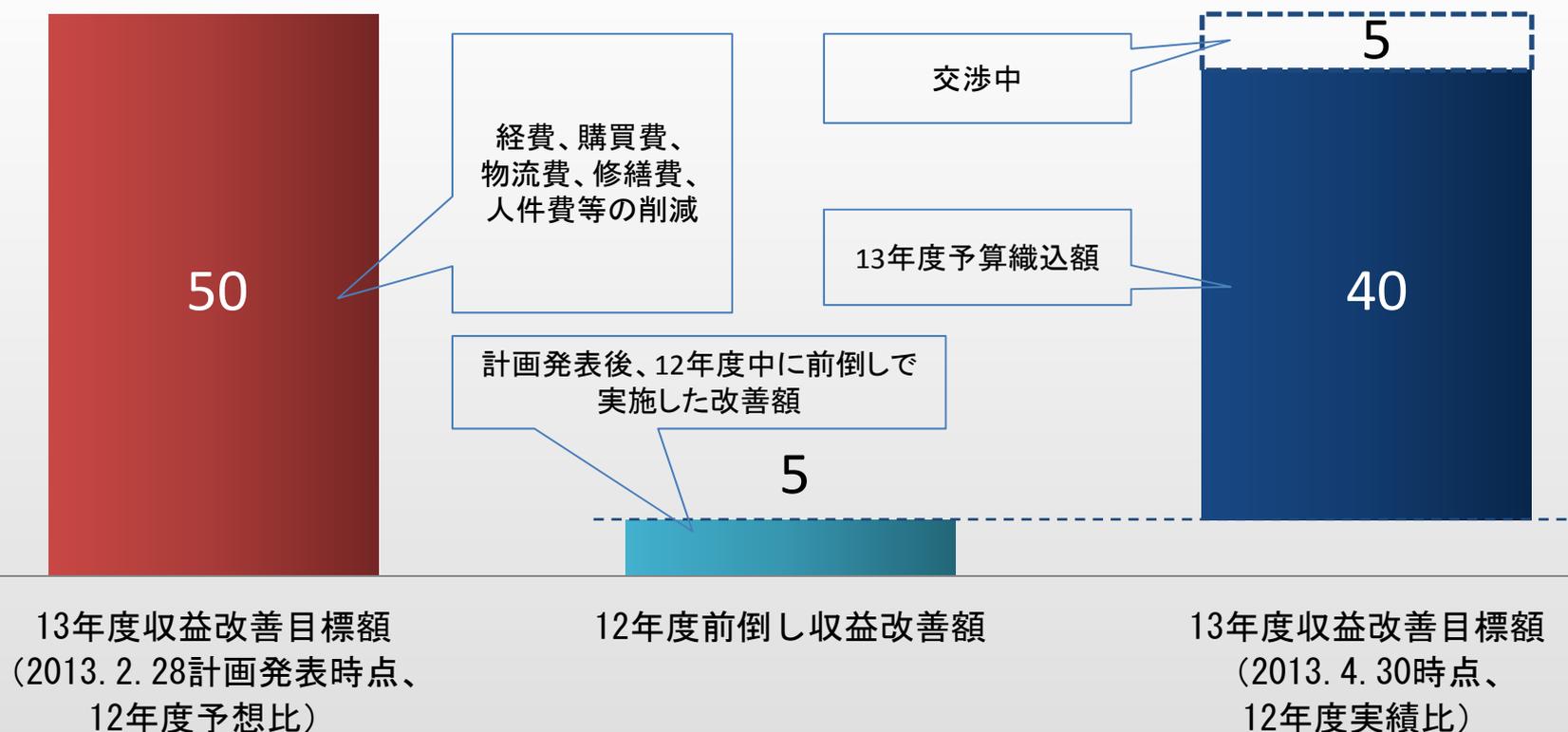
(注2) 2014年3月期より、各セグメントへの費用負担の方法を変更している。なお、2013年3月期においても、変更後の数値としている

5. 営業利益の増減 (予想の前期比) (億円)



6. 全社収益改善の進捗

12～13年度の全社コスト削減額(億円)



注)購買費、物流費は数量、為替による増減を除く

3 マレーシア計画

1. 進捗と今後のスケジュール
2. 多結晶シリコン需給予測
3. 中国の多結晶シリコン市況と
現地メーカー動向



3 マレーシア計画

1. 進捗と今後のスケジュール

トクヤママレーシアPS-1(第1期)

- ・2013年3月に試運転開始
- ・2013年9月より営業運転開始予定



トクヤママレーシア
(2013年3月撮影)

3 マレーシア計画

1. 進捗と今後のスケジュール

トクヤママレーシアPS-2(第2期)

- ・工事は予定通り進捗
- ・営業運転開始は2015年春を想定も、太陽電池市場動向に応じ柔軟に決定

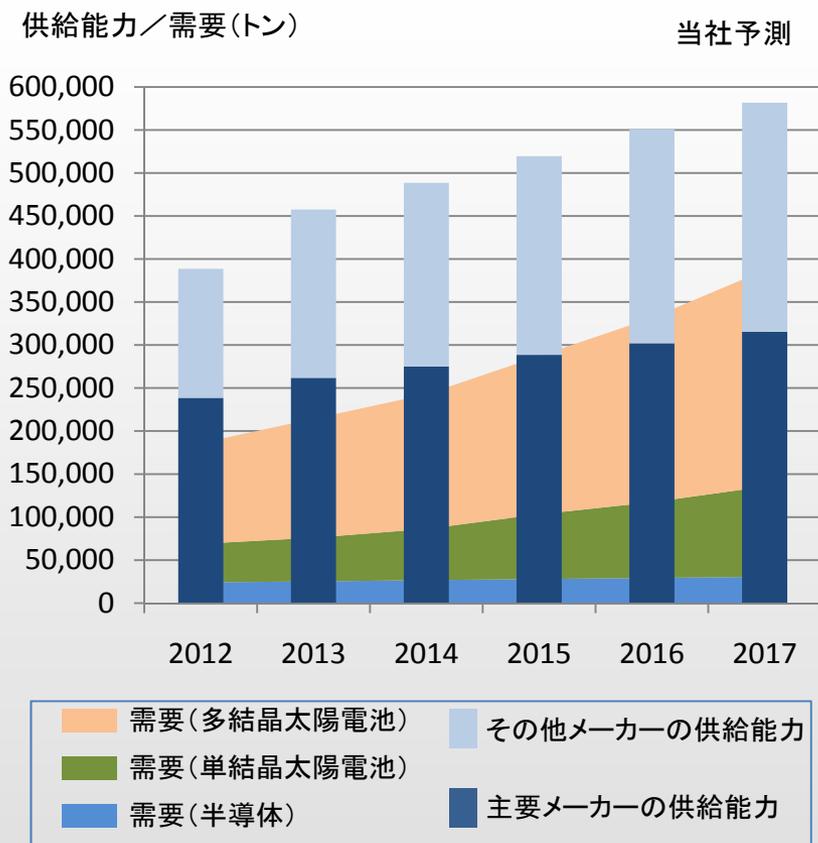


トクヤママレーシア
(2013年3月撮影)

3 マレーシア計画

2. 多結晶シリコン需給予測

多結晶シリコンの需要予測



(注1) 主要メーカーは、SolarbuzzのTier1メーカー

(注2) 需要は、iSuppli、Solarbuzzを基に、当社予測

2013年の見通し

<半導体向け需要>

◆タブレット、スマートフォン向けの需要拡大で年率5%の増加が見込まれる

◆サプライチェーン全体の在庫調整が進む

<太陽電池向け需要>

◆欧州では補助金削減により太陽電池導入量が大幅減となるものの、日本、中国、アメリカ等で積極的な導入政策による成長が予想され、年率10%超の需要拡大が見込まれる

◆ドイツでは、補助金依存から、低価格化を背景にした経済原理による太陽電池普及への移行が進む

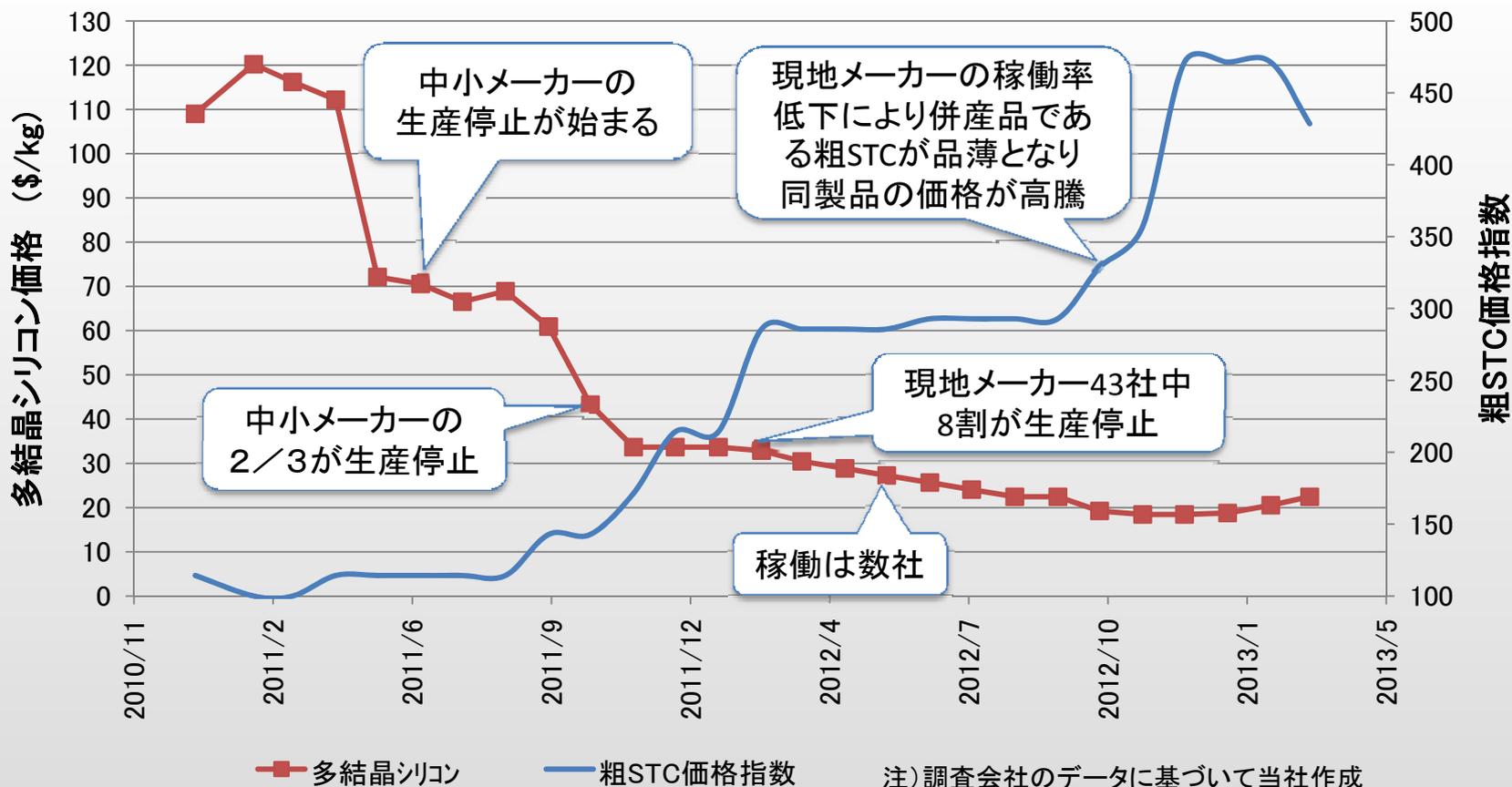
<供給サイド>

◆当面供給能力過剰の状況が続く。コスト競争力が生き残りのカギとなる

3. 中国の多結晶シリコン市況と現地メーカー動向

- 多結晶シリコンの価格が下落するにつれて、現地メーカーの稼働率は大幅に低下

多結晶シリコンと粗STCの中国国内価格の推移





4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. キャッシュ・フローの状況
3. 営業外損益の内訳
4. 特別損益の内訳
5. 主要指標
6. 業績推移
7. 主要原燃料価格推移
8. 設備投資額推移
9. 有利子負債残高推移
10. フリー・キャッシュフロー推移
11. 主要グループ会社売上高

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	2012年 3月期	2013年 3月期	増減	
			金額	%
売上高	2,823	2,586	△237	△8
売上原価	2,037	1,914	△122	△6
販管費	648	603	△45	△7
営業利益	137	67	△69	△51
営業外損益	△21	△35	△13	-
経常利益	115	32	△82	△72
特別損益	32	△312	△345	-
税前当期純損益	148	△280	△428	-
法人税等	54	98	+43	+80
当期純損益	93	△379	△472	-

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

貸借対照表

(億円)

	2012年 3月末	2013年 3月末	増減	
			金額	%
資産合計	5,011	5,182	+170	+3
流動資産	2,147	1,861	△286	△13
有形固定資産	2,263	2,743	+480	+21
無形固定資産	85	79	△5	△6
投資その他の資産	515	498	△17	△3

	2012年 3月末	2013年 3月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,457	2,943	+486	+20
流動負債	1,027	1,207	+180	+18
固定負債	1,429	1,735	+306	+21
純資産合計	2,554	2,238	△315	△12

4 補足資料

2. キャッシュ・フローの状況

連 結

(億円)

	2012年 3月期	2013年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー①	270	170
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△576	△606
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	△306	△436
財務活動によるキャッシュ・フロー④	207	364
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	△2	6
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	△100	△64
現金及び現金同等物の期首残高⑦	686	584
連結の範囲変更に伴う増減額⑧	△0	4
現金及び現金同等物の期末残高⑨(⑥+⑦+⑧)	584	524

4 補足資料

3. 営業外損益の内訳

連 結
(前 期 比)

(億円)

		2012年 3月期	2013年 3月期	差損益	備 考
営業外収益	受取利息・配当金	5	5	△0	
	その他	22	24	+2	為替差益増 +4
	計	28	30	+1	

営業外費用	支払利息・社債利息	20	23	△3	
	その他	30	42	△12	為替差損減 +4 休止部門費増 △17
	計	50	65	△15	

営業外損益		△21	△35	△13	
-------	--	-----	-----	-----	--

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

4 補足資料

4. 特別損益の内訳

連 結
(前 期 比)

(億円)

	2012年 3月期	2013年 3月期	差損益	備 考
特 別 利 益	47	10	△37	製品補償損失引当金戻入額減 △40
特 別 損 失	14	323	△308	固定資産減損損失 △271 棚卸資産評価損 △24 事業再構築費用 △9
特 別 損 益	32	△312	△345	

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

4 補足資料

5. 主要指標① (前期比)

		2012年3月期		2013年3月期		増 減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	億円	776	139	975	159	+199	+20
減価償却実施額	億円	284	236	232	184	△52	△51
研究開発費	億円	117	94	100	77	△16	△17
金融収支	億円	△14	+0	△17	△2	△3	△2

4 補足資料

5. 主要指標② (前期末比)

		2012年3月末		2013年3月末		増 減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
有利子負債	億円	1,486	1,285	1,877	1,672	+390	+387
期末人員	人	5,506	2,175	5,651	2,122	+145	△53

4 補足資料

5. 主要指標③ 予想の前期比

(億円)

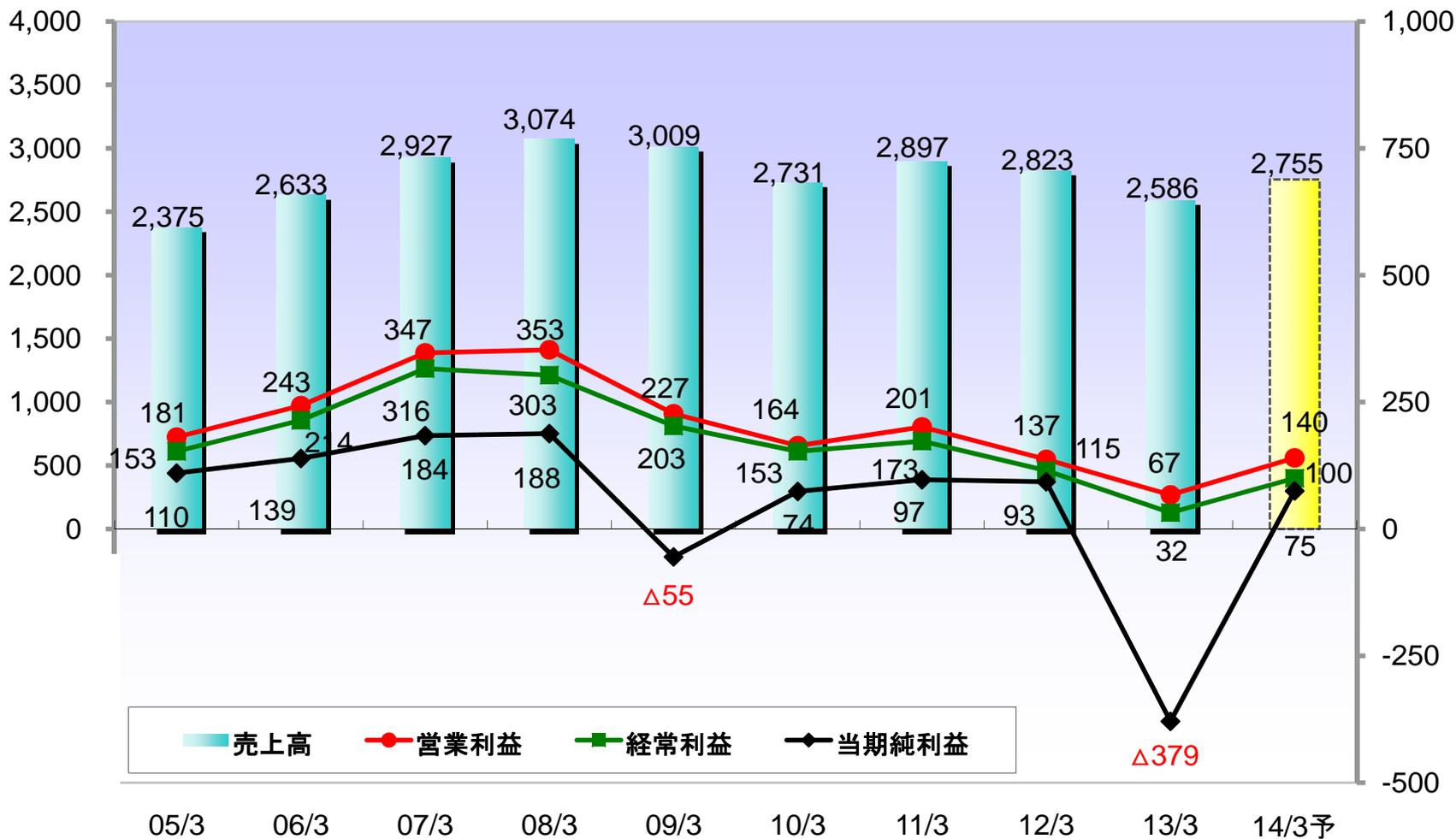
	13年度予想		12年度実績		増減	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	615	91	975	159	△359	△67
減価償却費	209	121	232	184	△23	△63
研究開発費	102	78	100	77	+2	+0

4 補足資料

6. 業績推移 (通 期)

売上高(億円)

利益(億円)

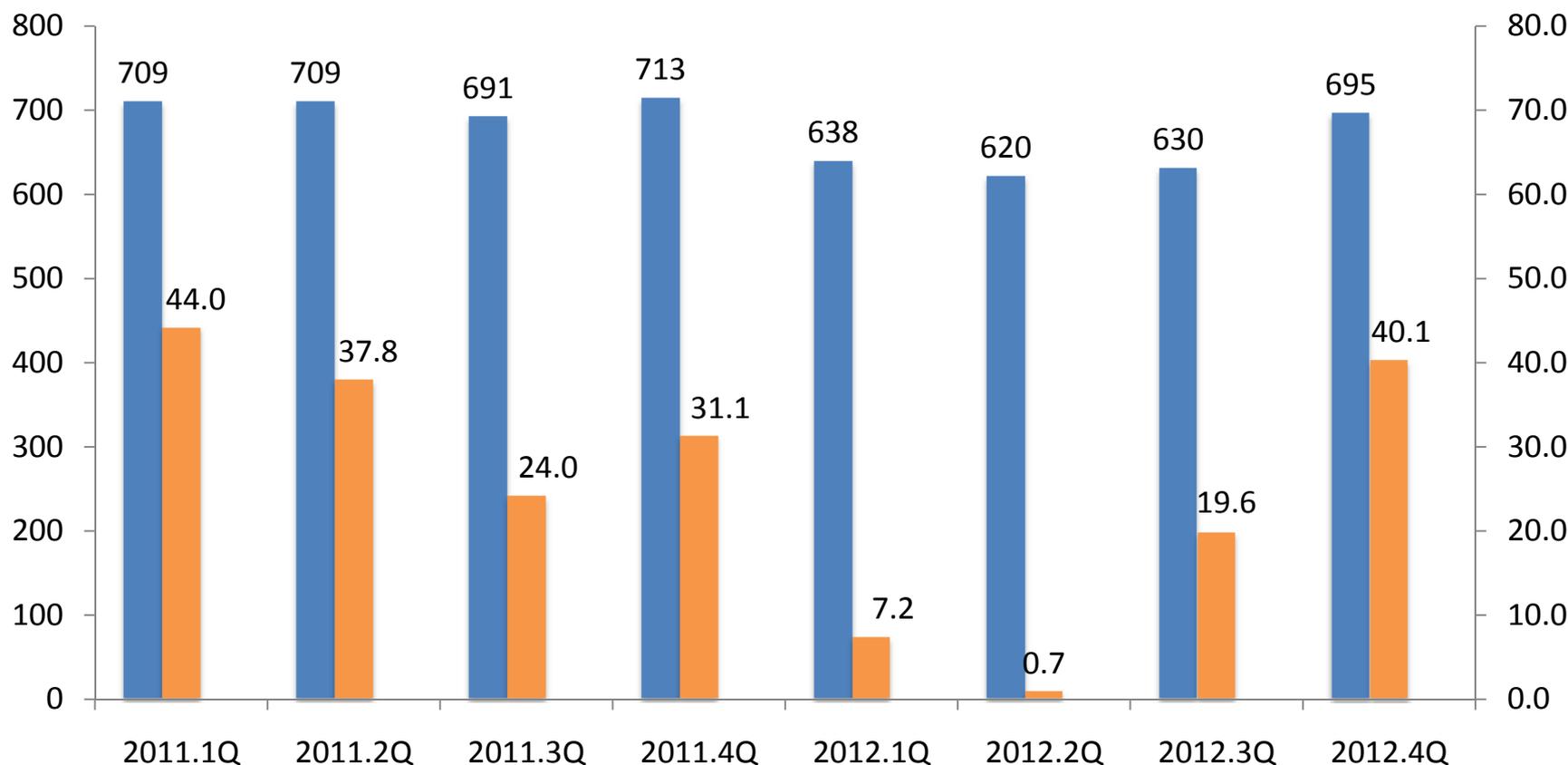


4 補足資料

6. 業績推移 (四 半 期)

連結

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)

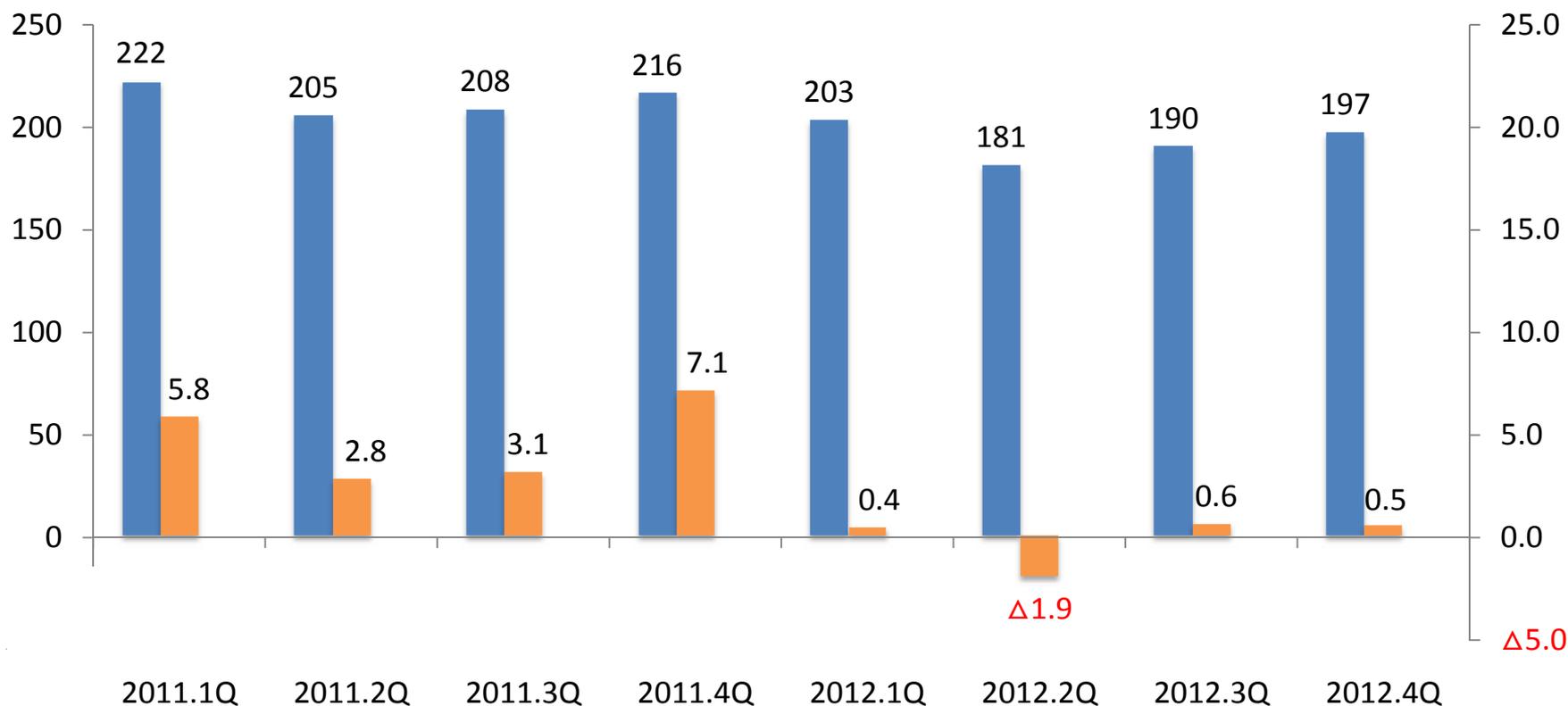


4 補足資料

6. 業績推移 (四 半 期)

化成品

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)

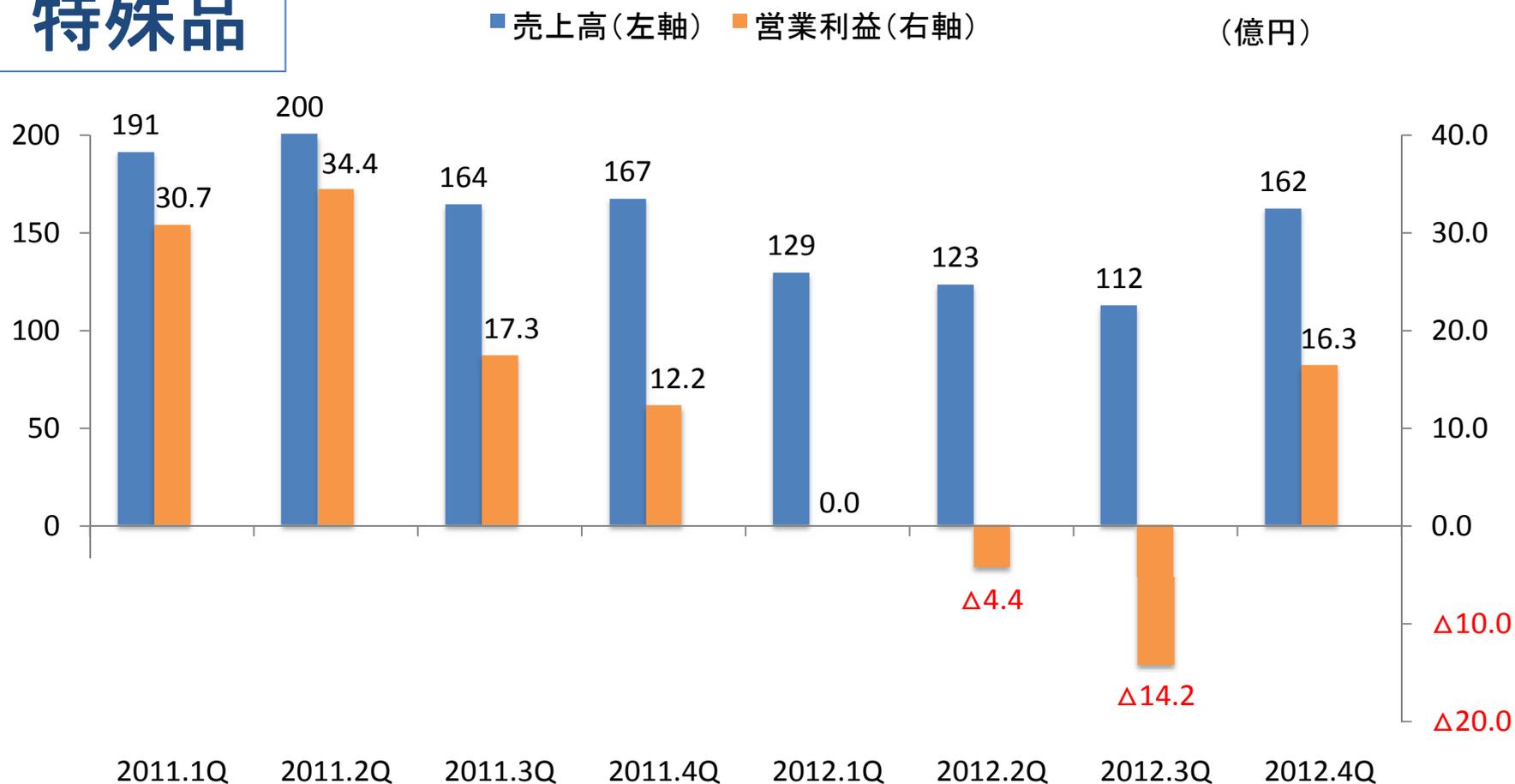


(注) 売上高にはセグメント間売上高を含む

4 補足資料

6. 業績推移 (四 半 期)

特殊品



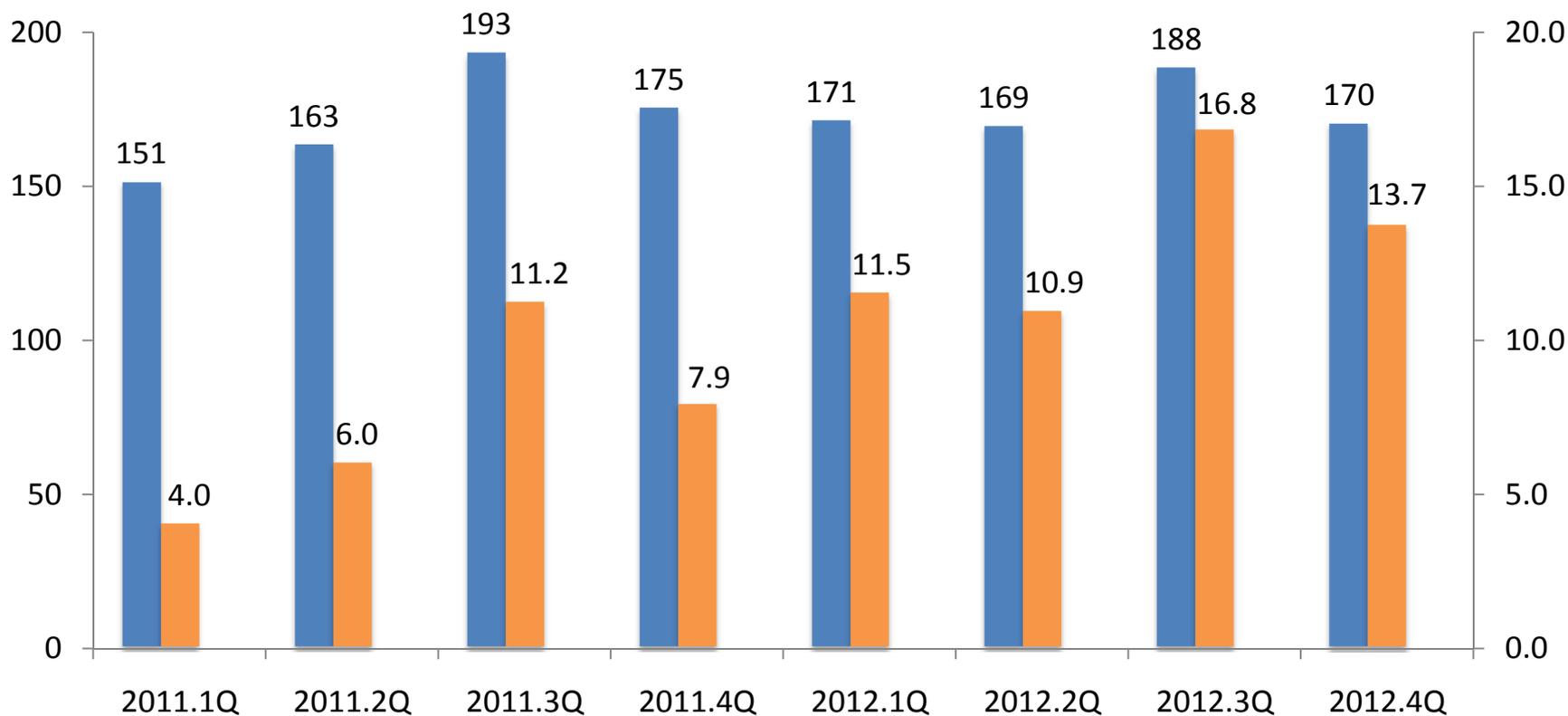
(注) 売上高にはセグメント間売上高を含む

4 補足資料

6. 業績推移 (四 半 期)

セメント

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)



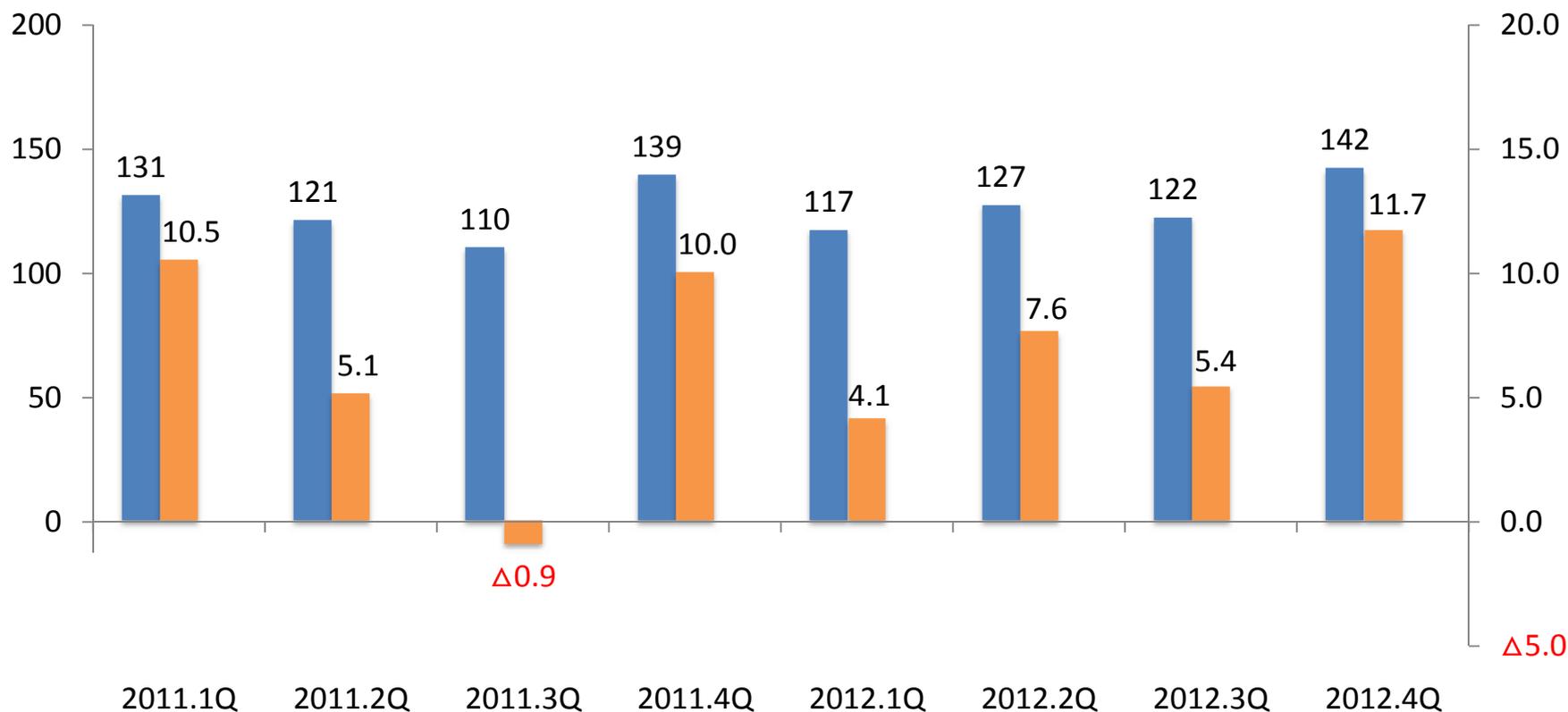
(注) 売上高にはセグメント間売上高を含む

4 補足資料

6. 業績推移 (四 半 期)

機能部材

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)



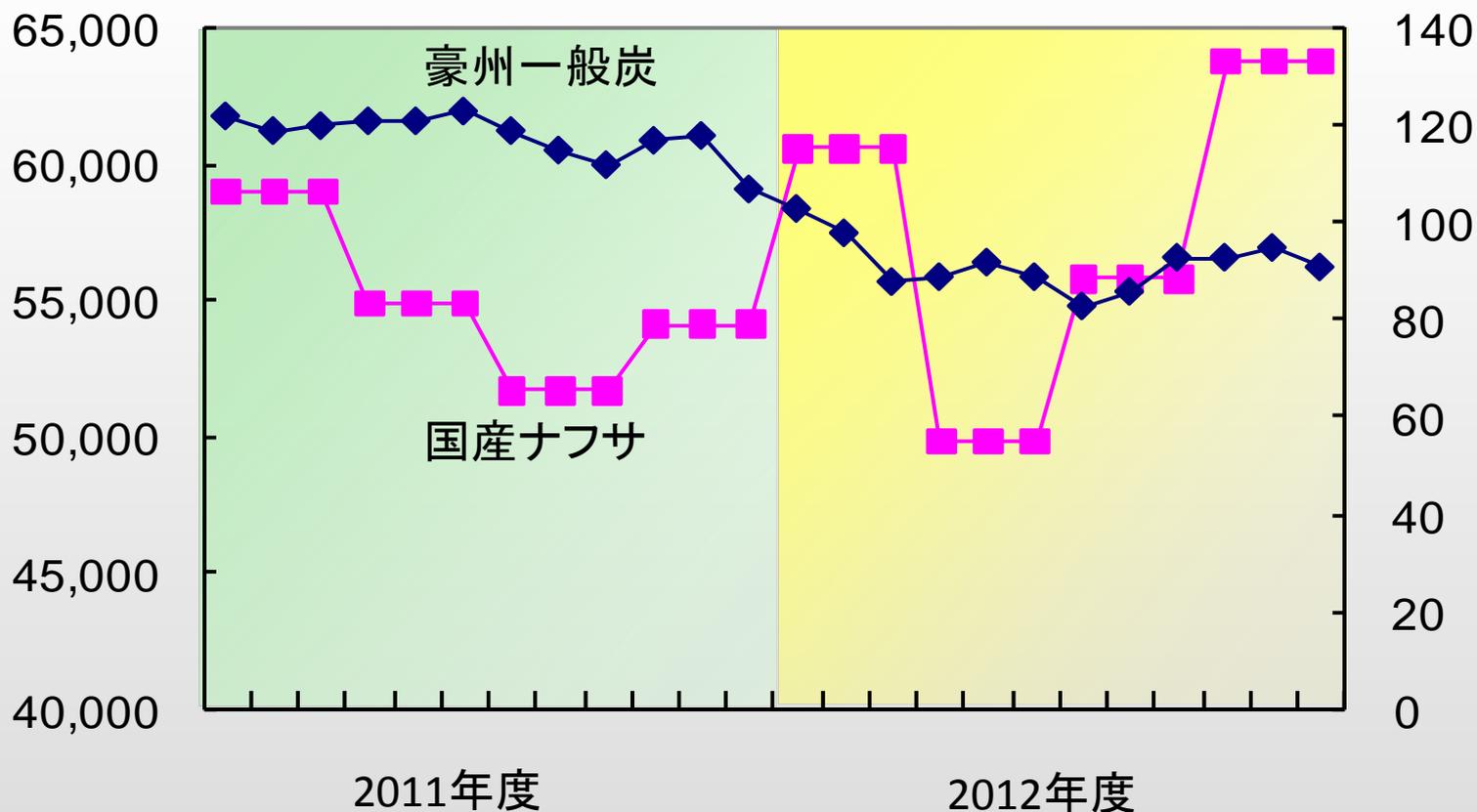
(注) 売上高にはセグメント間売上高を含む

4 補足資料

7. 主要原燃料価格推移

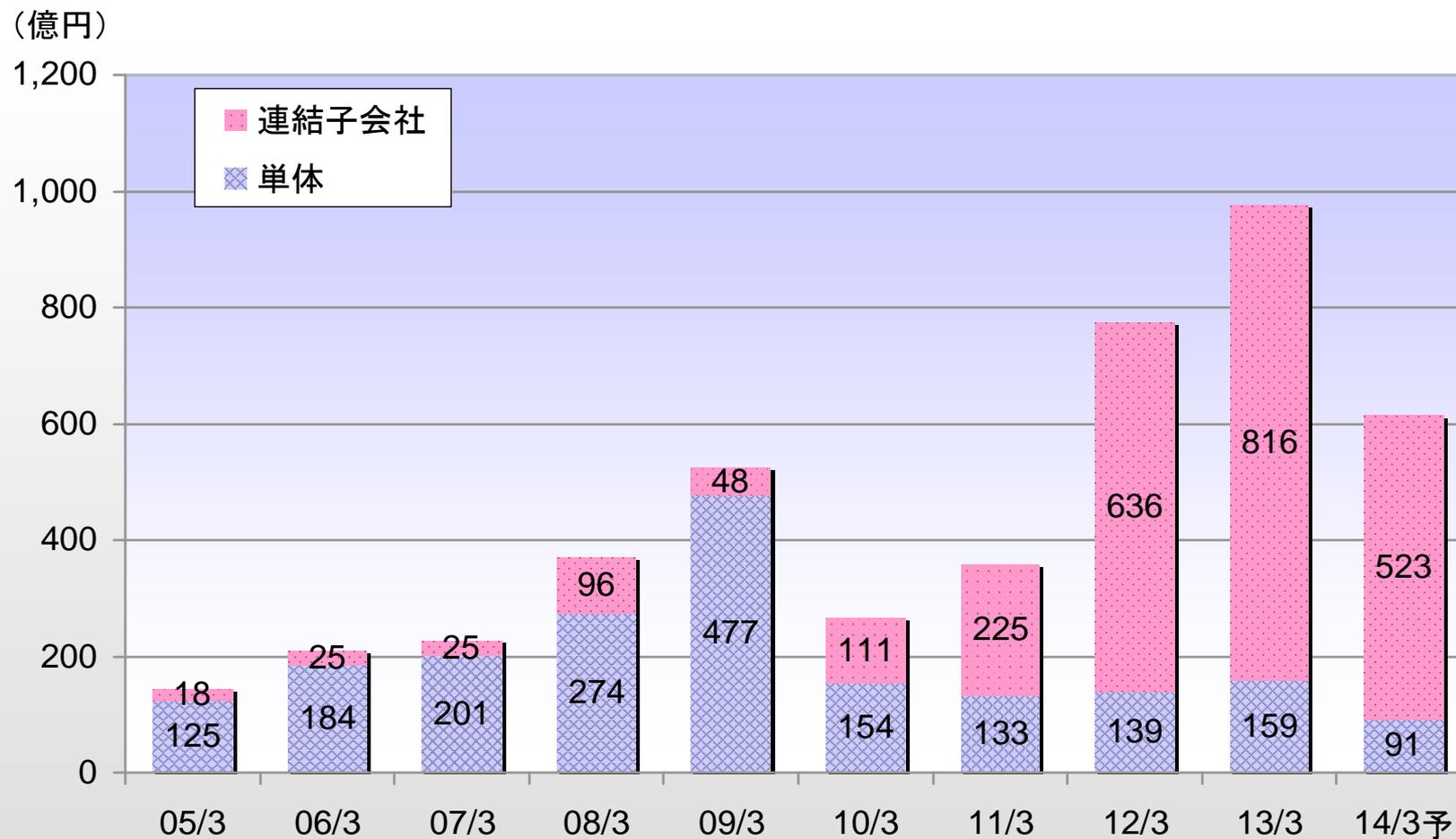
国産ナフサ価格
(円/kl)

豪州一般炭スポット価格
(\$/トン)



4 補足資料

8. 設備投資額推移



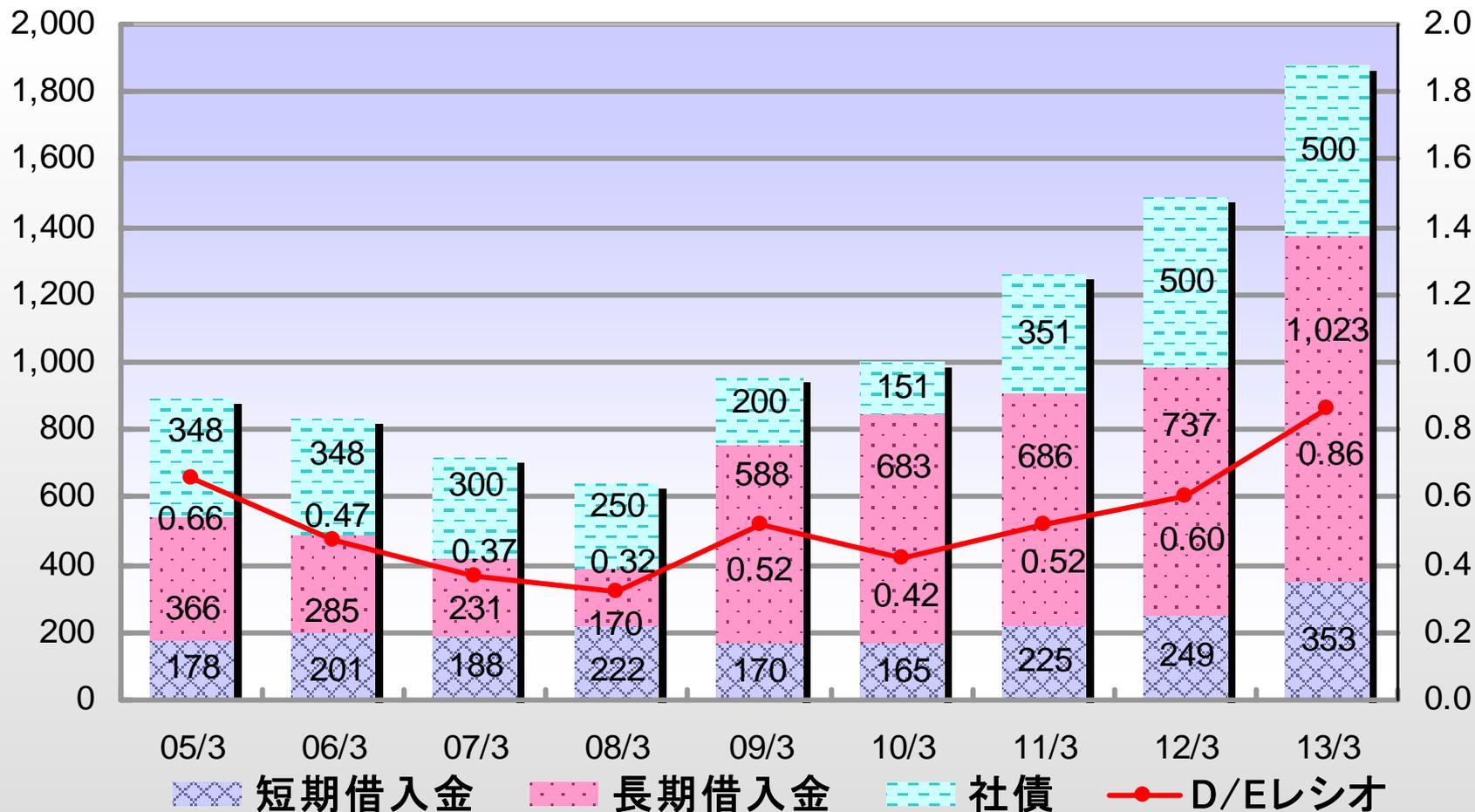
4 補足資料

9. 有利子負債残高推移

連 結

(有利子負債:億円)

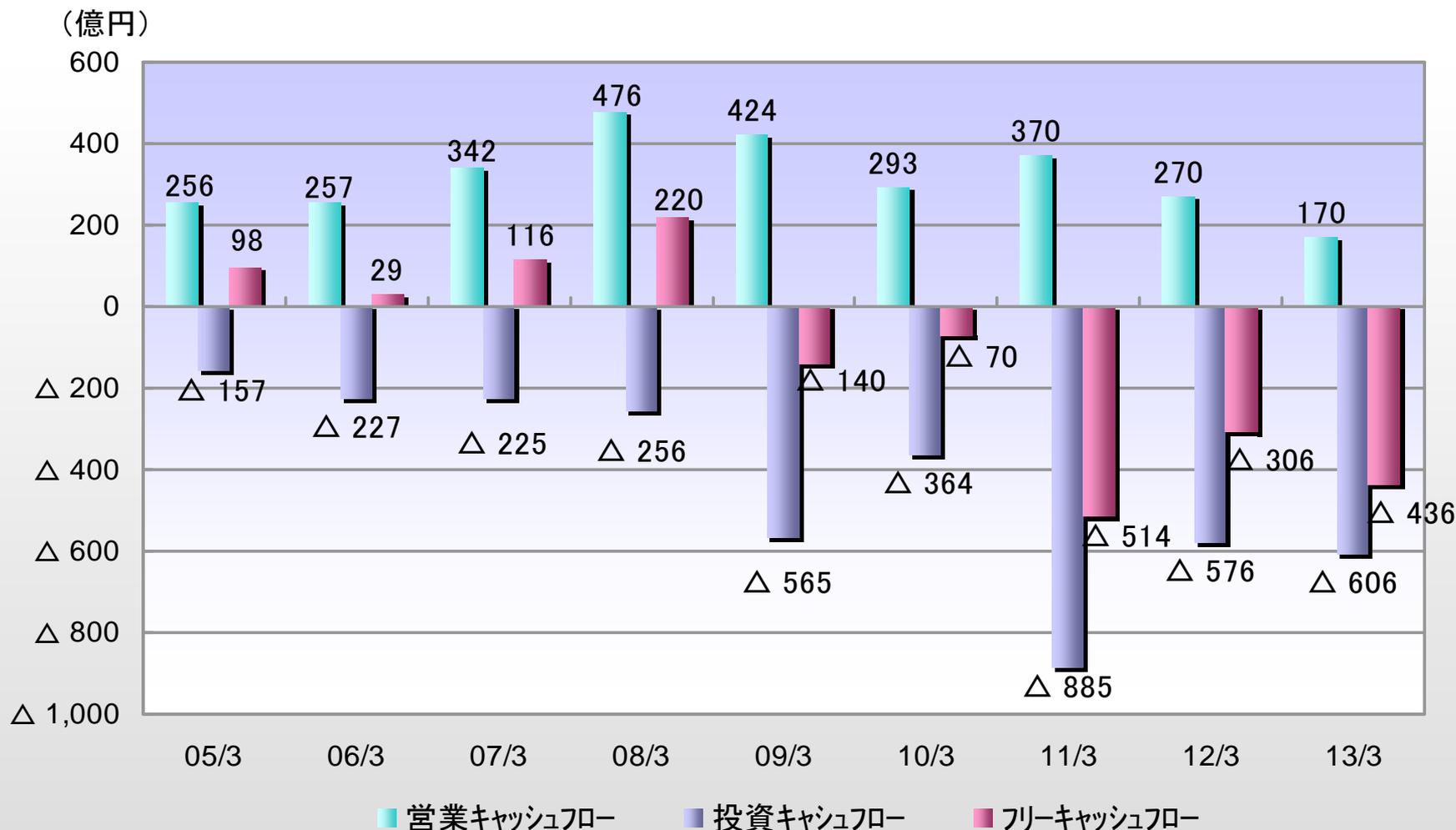
(D/Eレシオ)



4 補足資料

10. フリー・キャッシュフロー推移

連 結



4 補足資料

11. 主要グループ会社売上高

	会社名	事業内容	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	売上高 (百万円)	
					12年3月期	13年3月期
①	トクヤマ通商(株)	セメント・生コンクリート、各種建設資材の販売	95	100	21,488	21,411
②	新第一塩ビ(株)	塩化ビニル樹脂の製造販売	2,000	71	20,928	19,005
③	サン・トックス(株)	プラスチックフィルムの製造販売	1,600	100	15,761	16,472
④	(株)トクショウ	生コンクリート、各種建設資材の販売	40	100	8,752	9,643
⑤	関西トクヤマ販売(株)	生コンクリート、各種建設資材の販売	80	100	9,492	9,410
⑥	(株)エイアンドティー(12月決算)	臨床診断分析機器、試薬及び関連システムの販売	578	40	8,485	8,663
⑦	(株)エクセルシャノン	プラスチックサッシの製造販売	495	100	6,166	6,382
⑧	フィガロ技研(株)	ガスセンサ素子及び応用製品の製造販売	99	100	4,088	4,433
⑨	徳山化工(浙江)(有) (12月決算)	乾式シリカ、TCS、STCの製造販売	351.2 百万元	100	3,434	3,493

本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA

